

豊岡市教育研修センターだより



豊岡市教育委員会 R8(2026).6.10

No.3

豊岡市のホームページにもアップしています。

豊岡市HP→上段「暮らし」→右下「教育・学校」→「教育研修センター」へ

豊岡版コミュニケーション授業・演劇WSがスタートしました!

【豊岡版コミュニケーション授業に係る研修会:コミュニケーションゲーム(小6)】

1 授業のポイント

- 個性の推奨: 互いの価値観の違いを前提とし、遠慮や妥協はしない。
- プログラムの特徴(演劇的要素): 話し合いを通じた合意形成のプロセスを評価し、成果を第三者へ発表する。



2 指導の課題とアドバイス

- 指示の出しすぎへの対策: 子どもの「観察」を重視し、主体性を信じて見守る。
- 男女間の関係への不安: 「失敗してもいい場」として肯定的にチャレンジさせ、その経験を振り返りにつなげる。
- 少人数・初対面での工夫: 普段とは違うグループを編成する。複数の教員で多角的に子どもの変化を観察し、その気づきを言葉にして本人にフィードバックする。

【豊岡版コミュニケーション授業に係る研修会:ジェスチャーで場面づくり(中1)】

1 授業のポイント

プログラムは、価値観の違いを認め合い、合意形成を図る中で個性を実感させることをねらいとしています。指導者は、全体・グループ・ペアの活動において、生徒の表情や身振りから主体性や協働性(子どもの変化)を読み取ることが求められる。また、発表側だけでなく、拍手やうなずきといった「観る側の質の向上」が授業の質を高める。

2 指導の課題とアドバイス

- 主体性の尊重: 不参加の生徒も観察を続け、意欲が芽生えた瞬間を見極めて声掛けを行う。
- 脱線や失敗への対応: 失敗を次への学びに変える問いかけを行う。話し合いが行き詰まった際は、体を動かすアプローチが有効。
- 評価と助言: 肯定的な「評価言」を基本とし、改善点を伝える際はグループでの振り返り等のタイミングで「自分はこう感じた」と言葉を選んで伝える。

【演劇ワークショップ(小1、2)】

6月は市内各小・義務教育学校前期課程で実施しています。

今年度は、より保護者や地域の方に知っていただく(実際観ていただく)と参観授業やオープンスクールとして呼びかけてもらっています。子どもたちの学びをぜひ共有してください。

○保護者・地域の方へ

演劇と聞くと「演技が得意じゃないと…?」と思われるかもしれませんが、このワークショップは演技の上手さを求める場ではありません。子どもたちが自分らしくいられる、仲間と協力できる、新しい自分に気づける、そんな時間をつくることを目的としています。

🏠 なぜ学校で演劇ワークショップ?

今の子どもたちは、SNSや生活環境の変化により「人と関わる経験」や「自分を表現する機会」が減っています。そのため、学校現場ではコミュニケーションのつまずき、自信の低下、友人関係の悩み、などが増えていると言われています。

演劇ワークショップは、体験を通して“人と関わる力”を育てる方法として全国で広がっています。